

# 大杉

尾呂志学園便り 第8号



平成24年9月26日

TEL 小 4-1015

中 4-1012

携帯QRコード

## 第2回学校運営協議会を開催

9月18日（火）、尾呂志学園コミュニティ・ホールにて、平成24年度第2回学校運営協議会を開催しました。

学校運営協議会々長・学校長の挨拶のあと、報告及び協議事項としては、

（1）尾呂志学園の主な教育活動（中間報告） （2）協議会の今後の活動の2点についてでした。

その概要についてお知らせします。

### （1）尾呂志学園の主な教育活動（中間報告）

#### ①学校経営方針の「努力目標（めざす子ども像）」の具体化

中・長期的な目標である学校教育目標や4つの努力目標を実現するために、今年一年間をかけて取り組む具体的目標（右ページ参照）を説明しました。

この具体的目標を設定するにあたっては、昨年度末に実施したアンケート結果や「学校自己評価」、学校運営協議会委員のみなさまにいただいた「学校関係者評価」などをもとに、よりよい学校をつくるために改善を図っています。

#### ②小中連携教育の推進による小学校複式授業の解消

尾呂志学園の大きな特徴である小学校・中学校それぞれの教員がお互いに校種を越えて授業をしたり、研修会を開催したりすることにより、学力面及び生活面において相乗効果が表れていることを説明しました。

このことは、今年の4月に行われた全国学力・学習状況調査の結果にも表れていることを説明しました。

### （2）学校運営協議会の今後の活動

ここでは、ボランティアグループを通じての尾呂志学園の活性化に向けての取組（裏面左ページ参照）及びその意見交換が行われました。

委員さんから出された意見をいくつか紹介します。

- ・ いろんな大学や機関からも高い評価を受けている尾呂志学園だが、児童生徒数の増加には結びついていない。尾呂志学園のよさを内にも外にも、もっとアピールしていく必要がある。
- ・ 部活動にかかわる課題もあり、子どもを取りあうのではなくシェアしあうことを考えていく必要がある
- ・ 尾呂志に来たい人たちに対する「空家対策」など、協力していきたい。
- ・ 防災面で尾呂志の安全性をPRし、人を地域にひきつける動きを作りたい。
- ・ 平成31年には、紀南地域で高校が1つになってしまうことが危惧される。

etc.

## 【 学校経営方針 】

### ◎学校教育目標

「自ら考え、判断し、行動できる子どもを育てる」

#### ○努力目標（めざす子ども像）

##### 1 生き生きとして自ら学ぶ子

・ 授業の充実 ・ 創意工夫ある活動の推進 ・ 基礎学力の育成

##### 【具体的目標】

- ① 漢字や計算の練習などを繰り返し行うことにより、習得率の向上を図るとともに、わかりやすく主体的に学びあえる授業に取り組み、学習意欲を向上させる。
- ② 標準学力テスト（CRT）を実施し、児童生徒の学力の到達度を把握することにより、教材分析の充実などの指導方法の改善に取り組む。
- ③ 豊かな感性を育むため、各教科で地域の人材を活用した授業を工夫するなど、ねらいを明確にした体験的学習を展開する。

##### 2 心身ともにたくましく生きる子

・ 基本的生活習慣の育成 ・ 基礎体力、運動能力の育成

##### 【具体的目標】

- ① 小中9年間を通じて発達段階に応じ、きまりや約束事を守り、規則正しい生活を送ることができるようにする。
- ② 場面に応じて「ありがとう」や「ごめんなさい」の言葉が言えたり、元気よく挨拶が交わされたりできるようにする。
- ③ 体を動かす遊びや部活動を通じて、基礎体力や運動能力を身につけさせる。

##### 3 思いやり・人権を大切にする子

・ 人権教育の推進 ・ 子ども理解、実態の把握

##### 【具体的目標】

- ① 授業での学び合いや支え合いをはじめ学校生活のさまざまな場面で、友だちを大切に、状況や相手のことを考えた言葉遣いや行動がとれるようにする。
- ② 「生活アンケート」等の客観的な資料を活用して、正確な児童生徒の実態把握に努め、小中が連携して、自分の思いを安心して伝えられるような子どもたちの信頼関係が築けるように努める。

##### 4 郷土に誇りを持てる子

・ 地域、家庭との連携 ・ 体験活動の充実

##### 【具体的目標】

- ① 家庭訪問・授業参観・PTA活動等を通じて、保護者との交流の機会を増やし、組織的に連携を図る。
- ② 学校運営協議会との連携を深め、子どもたちの経験や体験の幅を広げるために、学校行事や体験学習などで積極的に地域の方との交流を図る。
- ③ 地域の一員として、地域行事に主体的に参加できるよう環境や条件を整える。

# 尾呂志学園の活性化に向けて ～ボランティア活動を通じて～

## 1. はじめに ～今後の尾呂志学園の児童生徒数の推移～

①これから尾呂志学園小へ入学する入学前の子どもの数（平成 25 年 3 月見込み）

年令	1才	2才	3才	4才	5才	6才
人数	0	1人	4人	2人	3人	2人

→近い将来、尾呂志学園や尾呂志保育所が、存続の危機を迎える可能性が…



②学校運営協議会としても、地域と一緒に**児童生徒数を増やす**ための取組を推進する

## 2. 平成 24 年度「ボランティアグループ」の活動について

①ボランティアグループの活動について

A 学習支援ボランティア … 尾呂志学園の「地域人材バンク」的な活動

※【『教えて！名人！』～「人材バンク」登録のお願い～】を広報で尾呂志地区に全戸配付

※【「職場体験学習」受け入れ（事業所）のお願い】を PTA・地域の方へ配付

→地域のみなさんの「学校へは行きづらい」というハードルを下げるために

B 安心・安全支援ボランティア … スクールガードの活動の活性化

※スクールガード代表者会の開催（8月29日に開催）

※【尾呂志スクールガードからご協力のおお願い】を PTA・明朗会・育成会等に配付

→活動が継続するように、“できる人が、できるときに、できることを”のスタンスで

C 読書指導支援ボランティア 1 … 読み聞かせ活動の継続・発展

※【「読み聞かせの会」の活動のお知らせ（参加のお誘い）】を PTA・地域の方へ配付

→現在、地域のボランティアグループのみなさんの協力で、月 1 回定例化

D 読書指導支援ボランティア 2 … 「地域の図書館」運営の支援

※現在、1 階のホール前の部屋に 500 冊ほど農業関係の実用書や一般図書が入荷

→地域のみなさんが、趣味や実用の本を読むため、学校に気楽に出入りできるように



②コーディネーター部会の役割

…子どもたちの成長支援活動に中心的に取り組む方々であり、尾呂志学園の魅力や特色を地域のみなさんへのアピールなど、地域への積極的な働きかけをしていただく。

※各ボランティアグループの活動の連絡・調整、メンバーとの仲介

※各ボランティアグループ間の情報交換 ※学校運営協議会とのパイプ役

①これらの取組を通じて、コーディネーターのみなさんが、1人でも多くの尾呂志の方に尾呂志学園の魅力や特色を伝えていただき、学園を身近に感じてもらう。

②そして、その尾呂志のみなさんに、知人や親類のみなさんに尾呂志や尾呂志学園の魅力を広げてもらい、「尾呂志学園に子どもを通わせたい」という人を1人でも増やしていく。

# 9月30日(日) 尾呂志運動会を開催します!!

来る9月30日(日)、尾呂志学園運動場にて、尾呂志運動会を開催します。今年も尾呂志保育所、尾呂志学園小学校、尾呂志学園中学校、尾呂志地区合同の運動会にするため、早くから実行委員会を立ち上げて準備してきました。

一般種目には、たくさん賞品も用意しております。ご近所お誘いあわせのうえ、尾呂志学園にお越しいただきますようご案内申し上げます。そして、みんなで運動会を盛り上げ、秋の一日をお楽しみください。

なお、9月30日(日)が雨天等のため運動場での開催ができない場合は、翌週10月7日(日)に延期します。10月7日も運動場で実施できない場合は、尾呂志学園たかちらホールにて、一部種目を変更して開催します。

## 10月1日(月)の給食について

9月30日(日)に運動会を実施した場合

⇒ 10月1日(月)は振替休日となり学校は休み(給食なし)

9月30日(日)の運動会が延期になった場合

⇒ 9月30日はそのまま休み

10月1日(月)は授業日となりますが、給食は実施しません。

お弁当の用意をお願いします。

## 米づくり実行委員会からのお知らせ

今年も運動会当日のお昼休みに、尾呂志学園の学校田で、米作り実行委員会が中心となって育て、収穫した新米を販売します。毎年、「学校田で採れたお米はおいしい」と評判です。

今年の収穫高は311kgでしたが、そのうち250kg程度の販売を予定しています。どうぞ、この機会にお買い求めください。

## ▽◆6月の交通安全街頭指導担当者◆▽

(敬称略)

指導日	たかちらホール横	育苗施設前	農協前
10月2日(火)			
10月11日(木)			

指導時間は7:40～8:10です。よろしくお願いいたします

※毎月1・11日の街頭指導は、明朗会のみなさんにもご協力をいただいています

## 10月の下校時刻について

日が落ちてから暗くなるまでの時間が短くなりました。寄り道などせず帰宅してください。

★小学校…午後4時30分(10月末まで)

★中学校…午後5時30分(新人戦まで)